

令和5年度家庭的保育者認定研修申込要領

1 目的

「職員の資質向上・人材確保等研修事業の実施について」（平成27年5月21日雇児発0521第19号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知）（以下「国通知」という。）に基づき、家庭的保育者認定予定者及び現任家庭的保育者（保育士資格を持たない方）で本研修の受講が必要である方等を対象に「保育の知識」や「技術の習得」を目的として講義部分の研修を行います。令和3年度より「Zoom」を使用してのオンライン配信で実施しています。

2 研修対象者

家庭的保育者認定予定者等

※ この研修では、国が定めるカリキュラムのうち、講義部分のみを実施します。全日程を修了されても、地域型保育事業の家庭的保育者としての認定はできません。

認定が必要な方は、必ず区市町村保育主管課を通じてお申し込みください。

3 研修カリキュラム等

（1）研修カリキュラム及び日程：「別表1」及び「別表2」のとおり

（2）研修時間：講義40時間

※ 国通知に基づいた認定研修では、講義のほかに実習等があります。実習等の実施及び詳細につきましては、各保育主管課宛てにお問い合わせください。

4 参加費用

研修への参加費用は無料です。ただし、オンライン配信を視聴するための環境整備及び会場への往復の交通費及び昼食代は、自己負担とします。

5 受講申込について

（1）受講を希望する際は、家庭的保育者認定研修受講申込書に必要事項をご記入の上、当財団にご提出ください。申込受付後、「保育人材育成研修オンライン受付システム（以下「オンライン受付システム」という。）」より、受講申込書に記載のメールアドレス宛てに申込完了メールが届きます。

（2）オンライン配信を視聴できる環境がない方については、オンライン配信会場（23区内を予定）にお越しいただいて受講することは可能です。希望される方は受講申込書の該当欄に「○」を記入してください。（なお、配信会場の都合により若干名といたします。）

6 提出期限及び提出先

（1）提出期限 令和5年8月15日（火曜日） 必着

※ 提出方法は、「郵送」（当日必着）または「FAX」（17:00 必着）とします。

FAXを送る際は、必ず番号をご確認いただき、送信後にご連絡をお願いします。

また、送信日時を必ずお控えください。

(2) 提出先

公益財団法人東京都福祉保健財団 人材養成部 福祉人材養成室 保育人材担当
〒163-0718 東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 18 階
電話：03-3344-8522 FAX：03-3344-7281
月曜日～金曜日（祝日を除く）9：00～17：30

7 受講決定について

東京都による受講決定後、令和5年9月中旬頃に「オンライン受付システム」より決定状況が確認できます。申込完了メールに記載の URL からシステムにログインしてご確認ください。申込者数が定員を上回る場合は、受講できない場合があります。

8 レポートの提出について

当該研修は、全日程を受講していただいた後に、レポート（1部）を指定する期日までに提出していただきます。

9 一部科目修了証書の発行について

一部科目修了証書は、修了した科目がない場合を除き、アンケートを提出した全ての受講者に対して交付します。（国通知のカリキュラムのうち、講義部分のみを実施するため、全日程を修了された場合も一部科目修了証書を交付します。）。遅刻・早退・離席等をされた場合その科目は、未受講の扱いになります。（オンライン研修では、Zoom へのログイン時間・ログアウト時間により出席確認をいたします。）レポートの提出の有無は交付には影響しません。

※一部科目修了証書の発行者は、東京都知事です。

10 研修実施主体

東京都 ※財団が、東京都より委託を受けて実施します。

11 その他

- (1) 6 ページからの＜研修受講の流れ＞および＜オンライン講義受講で推奨するシステム要件＞を必ずお読みいただき、事前に受講環境をご確認ください。
- (2) オンライン研修では、受講者側のカメラをオンにした状態で、出席確認をさせていただく予定です。そのため、講義中は、受講者の情報（受講番号と氏名（名字カタカナ）・映像）が共有されることにご同意の上、ご受講をお願いいたします。
- (3) 新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては、やむを得ず研修を中止する場合があります。

別表 1 家庭的保育者認定研修カリキュラム

科目	内容	時間
子ども家庭福祉 (「児童家庭福祉・社会福祉」関連) 子どもの安全と環境 (「社会的養護」関連)	【児童家庭福祉】 ・児童家庭福祉の理念・制度の体系を概括的に理解できるよう講義 ・児童及び家庭をとりまく状況や児童家庭福祉の実際、保育との関連性、児童家庭福祉を巡る現代的課題に配慮 1 現代社会における児童家庭福祉の意義と歴史の変遷（児童家庭福祉の理念と概念・歴史の変遷、現代社会と児童家庭福祉） 2 児童家庭福祉と保育（児童家庭福祉の一分野としての保育、児童の人権擁護と児童家庭福祉） 3 児童家庭福祉の制度と実施体系（児童家庭福祉の制度と法体系、児童家庭福祉行財政と実施機関、児童福祉施設等、児童家庭福祉の実施者・専門職） 4 児童福祉の現状と課題（少子化と子育て支援サービス、母子保健と児童の健全育成、多様な保育ニーズへの対応、児童虐待防止・ドメスティックバイオレンス、社会的養護、障害のある児童への対応、少年非行等への対応） 5 児童家庭福祉の動向と展望（次世代育成支援と児童家庭福祉の推進、保育・教育・療育・保健・医療等との連携とネットワーク、諸外国の動向） 【社会福祉】 ・社会福祉全般に関して、その理念体系を理解できるよう講義 1 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷（社会福祉の理念と概念、歴史の変遷） 2 社会福祉と児童家庭福祉（社会福祉の一分野としての児童家庭福祉、児童の人権擁護と社会福祉、家庭支援と社会福祉） 3 社会福祉の制度と実施体系（社会福祉の制度と法体系、社会福祉行財政と実施機関、社会福祉施設等、社会福祉の専門職・実施者、社会保障及び関連制度の概要） 4 社会福祉における相談援助（相談援助の意義と原則、相談援助の方法と技術） 5 社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組み（情報提供と第三者評価、利用者の権利擁護と苦情解決） 6 社会福祉の動向と課題（少子高齢化社会への対応、在宅福祉・地域福祉の推進、保育・教育・療育・保健・医療等との連携とネットワーク、諸外国の動向） 【社会的養護】 ・現代社会における社会的養護の意義と役割について体系的に理解できるよう講義 1 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷（社会的養護の理念と概念、歴史の変遷） 2 社会的養護と児童家庭福祉（児童家庭福祉の一分野としての社会的養護、児童の権利擁護と社会的養護） 3 社会的養護の制度と実施体系（社会的養護の制度と法体系、社会的養護の制度と法体系、家庭的養護と施設養護、社会的養護の専門職・実施者） 4 施設養護の実際（施設養護の基本原則、施設養護の実際（日常生活支援・治療的支援・自己実現・自立支援等）、施設養護とソーシャルワーク 5 社会的養護の現状と課題（施設等の運営管理、倫理の確立、被措置児童等の虐待防止、社会的養護と地域福祉）	360 分
子どもの心身の発達と保育 (「保育の心理学」関連)	・保育実践にかかわる心理学の知識や発達の基本原理を体系的に理解できるよう講義 ・子どもの発達過程における心理や発達の特徴を理解、生活と遊びを通じて学ぶ子どもの経験や学習の過程、保育における発達援助や子どもの発達を巡る現代的課題に配慮 1 保育と心理学（子どもの発達を理解することの意義、保育実践の評価と心理学、発達観、子ども観と保育観） 2 子どもの発達理解（子どもの発達と環境、感情の発達と自我、身体的機能と運動機能の発達、知覚と認知の発達、言葉の発達と社会性） 3 人との相互的にかかわりと子どもの発達（基本的信頼感の獲得、他者とのかかわり、社会的相互作用） 4 生涯発達と初期経験の重要性（生涯発達と発達援助、胎児期及び新生児期の発達、乳幼児期の発達、学童期から青年期の発達、成人期・老年期の発達） 5 子どもの発達と保育実践（子ども理解における発達の把握、個人差や発達過程に応じた保育、身体感覚を伴う多様な経験と環境との相互作用、環境としての保育者と子	480 分

	どもの発達、子ども相互のかかわりと関係作り、自己主張と自己統制、子ども集団と保育の環境) 6 生活や遊びを通した学びの過程 (子どもの生活と学び、子どもの遊びと学び、生涯にわたる生きる力の基礎を培う) 7 保育における発達援助 (基本的生活習慣の獲得と発達援助、自己の主体性の形成と発達援助、発達課題に応じたかかわりと援助、発達の連続性と就学への支援、発達援助における協働、現代社会における子どもの発達と保育の課題)	
子どもの健康管理 (「子どもの保健」・ 「小児保健」関連)	・ 児童の心身の健康と安全に係る基本的知識と保育実践に係る児童の疾病とその予防について理解 ・ 児童の健康増進を図る健康活動の意義の理解 ・ 児童の身体面のみならず、心の健康についての理解 1 子どもの健康と保健の意義 (生命の保持と情緒の安定に係る保健活動の意義と目的、健康の概念と健康指標、地域における保健活動と児童虐待防止) 2 子どもの発育・発達と保健 (生物としてのヒトの成り立ち、身体発育と保健、生理機能の発達と保健、運動機能の発達と保健、精神機能の発達と保健) 3 子どもの疾病と保育 (子どもの健康状態の把握と主な疾病の特徴、子どもの疾病の予防と適切な対応) 4 子どもの精神保健 (子どもの生活環境と精神保健、子どもの心の健康とその課題)	480 分
子どもの安全と環境 (「子どもの保健」関連)	・ 保育実践に係る児童の事故防止と安全管理等についての理解 ・ 保育における環境及び衛生管理並びに安全管理について理解 ・ 母子保健対策、他職種等の連携等について ・ 一人一人の児童の保健とともに、集団の場における保健的対応や対策について理解 1 環境及び衛生管理並びに安全管理 (保育環境整備と保健、保育現場における衛生管理、保育現場における事故防止及び安全対策並びに危機管理) 2 健康及び安全の実施体制 (職員間の連携と組織的取組、母子保健対策と保育、家庭・専門機関・地域との連携) 3 保健活動の計画及び評価 (保健計画の作成と活用、保健活動の記録と自己評価、子どもの保健に係る個別対応と子ども集団全体の健康と安全・衛生管理)	360 分
子どもの栄養管理 (「子どもの食と栄養」 関連)	・ 児童の食生活や栄養に関する基本的知識と保育実践に係る食育の基本と内容について理解できるよう講義 (児童の健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養の基本的概念や調理の基本、年齢や発達過程における食生活について理解、食に係る特別な配慮を有する児童への対応や食を通した保護者への支援、現代社会における食生活の課題に関しても配慮した内容) 1 子どもの健康と食生活の意義 (子どもの心身の健康と食生活、子どもの食生活の現状と課題) 2 栄養に関する基本的知識 (栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能、食事摂取基準と献立作成・調理の基本) 3 子どもの発育・発達と食生活 (乳児期の授乳・離乳の意義と食生活、幼児期の心身の発達と食生活、学童期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活) 4 食育の基本と内容 (食育における養護と教育の一体性、食育の内容と計画及び評価、食育のための環境、地域の関係機関や職員間の連携、食生活指導及び食を通した保護者への支援) 5 家庭や児童福祉施設における食事と栄養 (家庭における食事と栄養、児童福祉施設における食事と栄養) 6 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 (疾病及び体調不良の子どもへの対応、食物アレルギーのある子どもへの対応、障害のある子どもへの対応) 7 ミルクの作り方・与え方 8 離乳食の与え方 9 お弁当の管理方法 10 おやつについて	360 分
子どもの保育 (「保育原理」・「教育原理」 関連)	【保育原理】 ・ 保育所保育指針の内容や児童の保育と保護者の支援を担う保育士の役割と責務について理解 ・ 保育相談支援や地域子育て支援等を含む保育の社会的意義や現代的課題について理解 1 保育の意義 (保育の理念と概念、児童の最善の利益を考慮した保育、保護者との協働、保育の社会的意義、保育所保育と家庭的保育、保育所保育指針の制度的位置づけ) 2 保育所保育指針における保育の基本 (養護と教育の一体性、環境を通して行う保育、	360 分

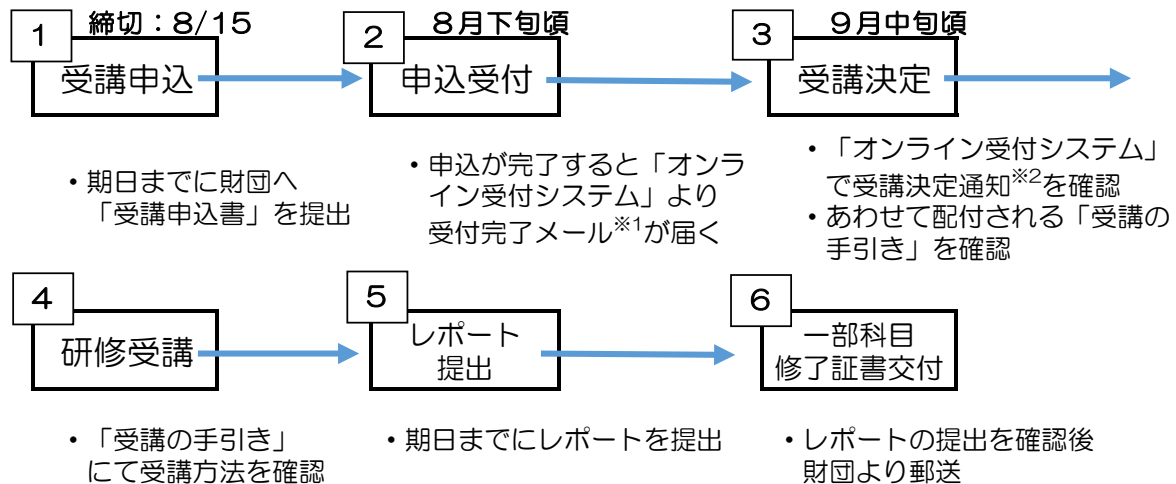
	発達過程に応じた保育、保護者との緊密な連携、倫理観に裏付けられた保育士の専門性) 3 保育の目標と方法（現在を最もよく生き、望ましい未来をつくりだす力の基礎を培う、生活と遊びを通して総合的に行う保育、保育における個と集団への配慮、計画・実践・記録・評価の連動） 4 保育の思想と歴史の変遷（諸外国の保育の思想と歴史、日本の保育の思想と歴史） 5 保育の現状と課題（諸外国の保育の現状と課題、日本の保育の現状と課題） 【教育原理】 ・教育に関する基本的概念、教育における実践原理を体系的に理解できるようにする 1 教育の意義、目的及び児童福祉等との関連性（教育の意義・目的、教育と児童家庭福祉の関連性、人間形成と家庭・地域・社会等との関連性） 2 教育の思想と歴史の変遷（諸外国の教育思想と歴史、日本の教育思想と歴史、児童観と教育観の変遷） 3 教育の制度（教育制度の基礎、教育法規・教育行政の基礎、諸外国の教育制度） 4 教育の実践（教育実践の基礎理論（内容、方法、計画と評価）、教育実践の多様な取り組み） 5 生涯学習社会における教育の現状と課題（生涯学習社会と教育、現代の教育課題）	
--	--	--

別表 2 令和 4 年度家庭的保育者認定研修日程一覧

日程		時間		研修科目	講師名 (敬称略)	受講方法
1 日目	10 月 14 日 (土)	9 : 20～9 : 30		開講式		オンライン配 信
		9 : 30～16 : 30	6h	子どもの安全と環境（「子どもの保健」関連）	藤井 祐子	
2 日目	10 月 28 日 (土)	9 : 30～16 : 30	6h	子どもの保育（「保育原理」・「教育原理」関連）	小山 祥子	
3 日目	11 月 5 日 (日)	9 : 30～16 : 30	6h	子どもの栄養管理（「子どもの食と栄養」関連）	堤 ちはる	
4 日目	11 月 19 日 (日)	10 : 00～16 : 00	5h	子どもの健康管理（「子どもの保健」・「小児保健」関連）	永吉 美智枝	
5 日目	12 月 2 日 (土)	10 : 00～16 : 00	5h	子どもの心身の発達と保育（「保育の心理学」関連）	永田 陽子	
6 日目	12 月 17 日 (日)	9 : 30～16 : 30	6h	子どもの心身の発達と保育（「保育の心理学」関連）(3h) 子どもの健康管理（「子どもの保健」・「小児保健」関連）(3h)	永田 陽子	
7 日目	1 月 8 日 (月)	9 : 30～16 : 30	6h	子ども家庭福祉（「児童家庭福祉・社会福祉」関連）(4h) 子どもの安全と環境（「社会的養護」関連）(2h)	澁谷 昌史	

合計 40h

＜ 研修受講の流れ ＞



※1 申込完了メールは修了証の発行まで使用しますので大切に保存してください。また、8月下旬を過ぎても申込完了メールが届かない場合は事務局まで必ずご連絡ください。

※2 受講決定通知では、①受講決定の有無 ②Zoom ID 及びパスコード ④留意事項を確認してください。

＜ オンライン講義受講で推奨するシステム要件 ＞

オンライン講義は、「Zoom」を使用して実施します。受講手順については、受講決定通知と一緒にオンライン視聴ガイドを配布しますので、そちらをご確認ください。

機器やネットワーク環境については、下記をご参照のうえ、受講当日までに準備をお願いします。

1 システム要件等

- ・ インターネット接続：ブロードバンド有線またはワイヤレス（3G または 4G/LTE）
- ・ スピーカーとマイク：内蔵、USB プラグイン、またはワイヤレス Bluetooth
- ・ ウェブカメラまたは HD ウェブカメラ：内蔵または USB プラグイン
- ・ Zoom アプリ

注意事項

- ・ 講義中は、受講状況を画面で確認いたします。一部の科目では、講義中にグループワークや質疑応答等を実施します。受講の際にはカメラ機能・マイク機能を必ずご用意ください。
- ・ スマートフォンの場合は、事前に Zoom アプリのダウンロードが必要です。パソコンの場合は、アプリを使用せず、ブラウザでの受講も可能ですが接続が不安定・Zoom の一部機能に対応できない可能性がありますのでアプリの使用を推奨します。

Zoom アプリのダウンロードはこちら → <https://zoom.us/download>（Zoom ダウンロードセンター）

- ・ 複数の受講者が同所・同一日程で受講する場合、必ず 1 人 1 端末ご用意ください。受講者ごとのログインがないと受講確認ができません。
- ・ タブレットやスマートフォンは処理能力が劣り円滑にご受講いただけない可能性があります。なるべくパソコンでの受講をお勧めします。パソコン以外のデバイス（端末）で受講される場合の不具合のお問合せは原則対応できません。

2 サポートされるオペレーティングシステム（OS）等

【パソコン】	【タブレット及びモバイルデバイス】
macOS X と macOS X (10.10) 以降 Windows 8 (8.1) 以降 Ubuntu 12.04 またはそれ以降 Mint 17.1 またはそれ以降 Red Hat Enterprise Linux 6.4 またはそれ以降 など	Win 8.1 以降の Surface PRO 2 以降 iOS と Android デバイス BlackBerry デバイス ※「Zoom アプリ」のダウンロードが必要です。

3 サポートされるブラウザ（Zoom アプリがダウンロードできない場合）

- Windows : Edge 12+、Firefox 27+、Chrome 30+
- Mac : Safari 7+、Firefox 27+、Chrome 30+
- Linux : Firefox 27+、Chrome 30+

4 プロセッサおよび RAM の要件

最低		推奨
プロセッサ	シングルコア 1Ghz 以上	デュアルコア 2Ghz 以上（i3/i5/i7 または AMD と同等）
R A M	該当なし	4 GB

注意：Linux は、OpenGL 2.0 以上をサポートできるプロセッサまたはグラフィックスカードを必要とします。

5 帯域幅・通信料の目安

オンライン講義で使用する帯域幅は、視聴者のネットワークが 3G、Wi-Fi、または有線環境に応じて自動的に調整されますが、通信環境により音声・画像の質が影響します。できる限り有線 LAN を準備してください。

スマートフォンを使って視聴する場合、2 時間分の通信量は 1.2GB 程度になります。Wi-Fi 環境下での視聴をお勧めします。

6 講義で使用する資料のダウンロードについて

研修資料は、各研修日のおおむね 5 日前頃までに東京都福祉保健財団のホームページにアップいたしますので、研修当日までに各自でダウンロードしていただきます。なるべく印刷してお手元にご用意ください。なお、パワーポイントのスライドはオンライン配信画面に表示する予定です。

詳細は、受講決定時に配付する「受講の手引き」をご確認ください。

7 受講環境について

一部の科目では講義中にグループワークを実施いたします。グループワーク中は、グループ内の受講者の映像や音声共有されます。受講環境によっては、周囲の音が入ってしまいグループワークを円滑に進行できないことがございますので、会議室等のなるべく静かな環境でのご受講をお願いいたします。やむを得ず職員室や保育室内で受講される場合、音声共有されることにご注意いただくとともに、マイク機能付きのイヤホン・ヘッドセット等のご準備をお願いいたします。